

養護教諭、カウンセラー等と、通級指導担当教員の増員に関する請願

1 要 旨

心や体の悩みを抱えている子供たちが、安心して学校生活を送れるよう、県独自の養護教諭の複数配置と、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーのさらなる増員を求める。また、支援を必要としている子供たちの授業に向けて、通級指導担当教員の増員を求める。

2 理 由

インクルーシブ教育が進むにつれ、福井県においては、小中学校の通常学級における学習障害や注意欠陥多動性障害、自閉症と診断を受けた子供たちの在籍数は、年々増加している。さらに、いじめ認知件数は827件（2014年）から860件（2015年）、不登校件数は610件（2014年）から637件（2015年）に増加している。この数字以外にも、人間関係や成績などへの不安や悩みを抱える子供たちが数多くいるため、多忙化を極める学校現場において、学級担任1人では、子供たち一人一人からじっくり話を聞き、丁寧に対応することができない。悩みや困り感を抱える子供たちが安心して学校生活を送るためには、さまざまな立場での専門スタッフの増員が必要である。

3 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 橘英亜機

4 紹 介 議 員

山本正雄、糀谷好晃、中井玲子、細川かをり、井ノ部航太

5 受 理 年 月 日

平成29年11月20日